

難聴児の補聴器購入費用の一部を助成します

●健康福祉課 総合福祉係 ☎22-3167 ☎55-3167

身

体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の聴覚障がいのある児童

に対して、補聴器の装用による音声言語能力の向上や、等しく学び、成長できる環境を確保し、コミュニケーション能力等の成長に寄与するため、補聴器の購入費用の一部を助成することを目的としています。

●対象

助成金の支給対象児は、次の要件をすべて満たす18歳未満の難聴児となります。

- ▼阿蘇市内に住所を有していること。
- ▼両耳の聴力レベルが30dB以上で、身体障害者手帳の交付対象とならないこと。
- ▼補聴器の装用により、言語の習得等一定の効果が見込めると医師が判断するもの。

※ただし、身体障害者手帳の交付対象となる可能性のある場合には、あらかじめ身体障害者手帳の交付手続きを行ってください。(世帯の所得制限もあります。)

●助成金の交付額

基準価格(別表)の額に対して、3分の2の額を助成します。

●交付申請に伴う必要書類

- ▼難聴児補聴器購入費助成金交付申請書
- ▼対象児の聴力検査を実施した上で交付される医師意見書
- ▼意見書の処方に基つき作成された補聴器の見積書
- ▼補聴器の仕様書
- ▼その他

(別表)

補聴器の種類	1台当たりの基準価格(円)	基準価格に含まれるもの	耐用年数
軽度・中等度難聴用ポケット型	43,200円	①補聴器本体(電池含む) ②イヤーマールド (注)イヤーマールドを必要としない場合は、基準価格から9,000円を除く。	原則として5年
軽度・中等度難聴用耳かけ型	52,900円		
高度難聴用ポケット型	43,200円	補聴器本体(電池含む)	
高度難聴用耳かけ型	52,900円		
重度難聴用ポケット型	64,800円	①補聴器本体(電池含む) ②骨導レシーバー ③ヘッドバンド	
重度難聴用耳かけ型	76,300円		
耳あな型(レディメイド)	87,000円	①補聴器本体(電池含む) ②平面レンズ (注)平面レンズを必要としない場合は、基準価格から1枚につき3,600円を除く。	
耳あな型(オーダーメイド)	137,000円		
骨導式ポケット型	70,100円		
骨導式眼鏡型	127,200円		

市民の皆さまへ、大事なお知らせや制度などを紹介するコーナーです。お問い合わせは各担当課までお気軽にどうぞ。(☎はお知らせ端末の番号)



《テーマ：今年はどうな年にしたい?》 器楽でみんながたよれるように、ちがうパートも覚えて教えてください。(波野小5年・市原 朱梨)

国民健康保険被保険者証（保険証）が更新されます

●健康福祉課 国民健康保険係 ☎22-3167 ☎57-3167

現 在お持ちの保険証は、有効期限が平成25年3月31日までとなっています。平成24年度10期分までの国民健康保険税が全て納付されている世帯を対象に、4月からご使用になる更新された保険証を3月末に郵送する予定です。

平成25年3月1日以降に納付された世帯につきましては、本庁健康福祉課または各支所窓口で納付確認後の交付となりますので国保税の領収書をご持参下さい。

また、納期限までの納付が困難な場合、市役所では随時納税相談を行っていますので、お早めにご相談下さい。（すでに納税相談をされており、計画通りに納付されている方につきましては、従来通り納付後に短期保険証を市役所または各支所窓口で交付させていただきます。）



平成24年度国民健康保険税第10期の納期限（2月28日）が近づいています！！保険税の納め忘れはありませんか？納税期限の遵守にご協力をお願いします。納税相談のお問い合わせは、税務課収税係（☎22-3148）まで。

被災者の皆様へ。被災者生活再建助成金の申請はお済ですか？

●健康福祉課 総合福祉係 ☎22-3167 ☎55-3167

熊 本広域大水害被災者生活再建助成金の申請期限は3月8日金までとなっています。総務課で発行する罹災証明書が**床上浸水以上**の方で、**住宅の修理を完了**され、かつ、**受給要件を満たす世帯**は早めの申請をお願いします。

なお、受給できる世帯の要件は左記のとおりです。その他詳しくは広報あそ12月号5頁に掲載しています。ご不明な点は健康福祉課までお問い合わせください。

●**受給要件** 九州北部豪雨により被災し、半壊又は床上浸水の被害が認定された世帯のうち住宅の修理を平成25年2月28日までに実施し、かつ当該修理が完了した世帯の世帯主。ただし、次に該当する世帯は、対象から除外します。

- ▼被災者生活再建支援金の交付を受けた（受ける予定の）世帯
- ▼災害救助法における住宅の応急修理を実施した世帯
- 助成額** 実際に住宅の修理に要した経費（上限10万円）



おいでよ よかばい ドリーム会
加盟店募集中！！

様々な企画でお客様へのサービス向上を目指しています。

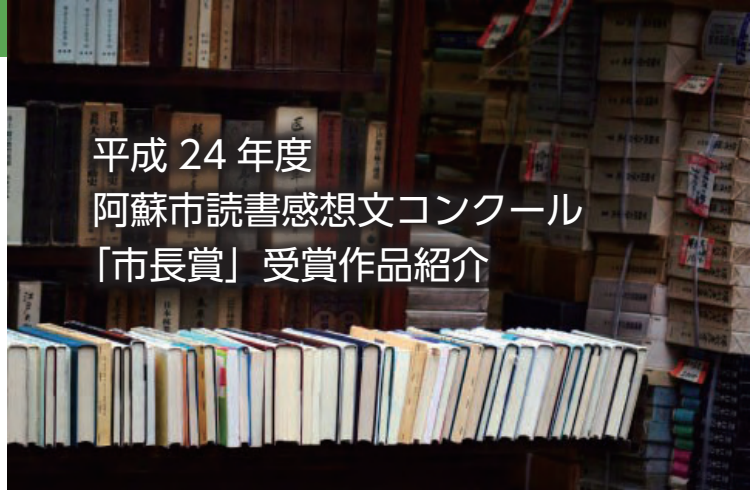
地域のお客様とお店の架け橋。

阿蘇市ドリームカード事業組合

お問い合わせは 一の宮町宮地（阿蘇市商工会一の宮支所内） TEL0967-22-0789

広告

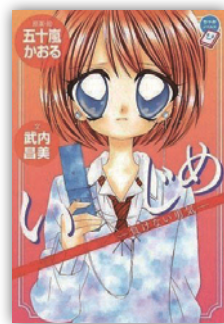
平成 24 年度 阿蘇市読書感想文コンクール 「市長賞」受賞作品紹介



情操、探究心、知識の向上など大きく人生の支えとなる読書の推進のため、毎年行う読書感想文コンクール。市内ほとんどの小・中学校の児童、生徒が参加しており、高校生・一般の部においても多数の作品が寄せられ、今年も優秀な作品が揃いました。その中でも、特に優秀な作品「市長賞」に輝いた3作品をご紹介します。

いじめ — 負けない勇気 —

碧水小六年 山崎 美結



いじめ - 負けない勇気 -
五十嵐かおる原案、小学館

私が夏休みの中で心に残ったのが、五十嵐かおるさんの「いじめ」という本です。

私がこの本を読もうと思ったきっかけは、最近ニュース等である、いじめが原因で自殺をするというのがあって、いじめとは、実際どんなのだろうと思っただけです。

私は今まで、「いじめ」とは、無視や暴力等をする事だと思っていましたが、この「いじめ」を読んで、いじめは絶対にダメだということを、あらためて思い知らされました。

この本は、三人の女の子が主人公になっていて、佳奈、春香、みのりです。この三人の内、二人がいじめられ、一人がいじめられる側になっています。この本は、いじめられる側だけではなく、いじめめる側の気持ちも書いてあり、すごく色々な気持ちが伝わってきます。

正直な所、私は今まで、いじめられる側に原因があるからいじめられる。そう思っていました。この本のおかげで、ただ単に、無口の人や地元なまりのある人（転校生）の普通の人がいじめられると知り、最初は、「ありえない。」や「最低。」という感情が生まれました。しかし今は、これだけの感情では、無くなっています。

私は、この本を読んで他に知りたくなかったので調べました。そしたら、「見て見ぬふりの人も、いじめてる側。」とでたり、人が嫌がっているあだ名で呼ぶことや、人の事を陰でコンソソ言うことも、いじめてる側とでました。

私は、これを調べた後、もう一度、読み返してみました。そしたら今度は、最初とちがう視点から見れました。その見て見ぬふりをする人を私と考えると、ながら読むと、「ここだったら、私ははつきりと言える。」という所や、「私だったら、言えないかも...。」という所もありました。

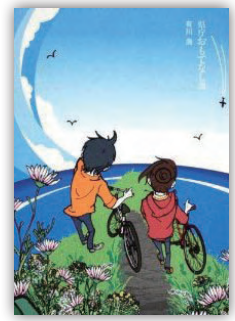
また、いじめ理由についても調べてみると「反応が面白いから。」や「とろいから。」などの理由がでてきました。確かに、五十嵐さんの「いじめ」にも、そういう感情が書かれています。

私は、こういふのを知ったうえで、何度も、何度も、読み返しました。そ

して、最終的には、こう思いました。やっぱり人それぞれ、相性の合う合わないはいると思う。どんなにいい人だって、その人がいない所で、色々と言ってしまうだろう。でも、言っていない事と悪い事がある。あだ名だつてその。その人自身が気にしている事、自分の名前をバカにしたようなあだ名。その人が「嫌っ。」って言ってまた言う。それは、いじめだと思っ。私は、この六年間で、全部で約十五以上のあだ名があるが、その中で嫌だつたのが、ミュータンスキンや美結(みけつ)だ。最初は、気にしてたけど、今は、そんなに気にしなくなっている。調べたとおり、反応を面白がる人がいるから。こつこつこの事、気が分かったから、その人が嫌と言ったらやめよう。言う人がいたらやめなよって言う。こつこつこの事を考えられるから、また五十嵐さんの本を読もう。

この先、もし、いじめられる人がいたら、見て見ぬふりはしないで、「やめたら。」と声をかけ、手を差しのべて、もし自分がされたら、逃げようと思っ、ちゃんと「嫌っ。」と言っ、いじめてしまっ側になつたら、ちゃんと止めようと思っました。

これからもたくさん、五十嵐かおるさんの本を読んですてきな心を育てていこうと思っました。



県庁おもてなし課
有川 浩著、角川書店

県庁おもてなし課

阿蘇中三年 野口 瑞穂

「おもてなし課」と聞いて何を想像しますか。私は、観光スポットで案内する人達を想像しました。人によって考え方は様々だと思いますが、この本での「おもてなし課」は、観光立県を目指す県、県外観光客を「おもてなし」する心で県の観光を盛り立てようというコンセプトで作られた課というものです。

この本は、二十年ほど前の高知県高知市の県庁の話から始まります。その県庁の職員の一人在新動物園に、パンダを誘致するという「パンダ誘致論」を却下され、県庁を去ります。その数年後県庁に「おもてなし課」が発足します。それからおもてなし課は、主人公、おもてなし課で一番若い掛水さんのアイデアでいろいろなことに挑戦していきます。そんなある日、吉門という人からメールが届き、吉門さん

の発言で今までの計画を見直すことになりました。それから、吉門さんのアイデアで県庁職員ではないアルバイトの人を雇ったり、新しい取り組みをしたりしました。「パンダ誘致論」を唱えていた清遠さん、吉門さんなどのおかげで、掛水さん、多紀さんは、「高知レジャーランド化」計画をしたり、新聞のインタビューを受けたりして成功していきます。

私はこの本を読んですごいと思いました。

「おもてなし課」は一からのスタートなのに、いつも前向きで、指摘があっても、いけなかった点をしっかりと考え、分からなかったらその人に聞き、どうしたらよくなるのか、今後どうしていくべきかを考えていたからです。

私だったら指摘を受けた時点でマイナス思考になっていくと思います。でも、それではいけないのだと思います。私が通っている阿蘇中学校も今年がスタートです。私は学校を引っ張っていく立場の三年生です。今まで私は、周りから指摘されると、私に足りない部分があるから、指摘を受けると思っていました。でも、この本を読むにつれ、指摘は私に少しでも良くなって欲しい、成功して欲しいという気持ちから、言ってくれるのだと思うようになりました。

この本でも最初は、掛水さんは吉門さんに怒られてばかりでした。でも吉門さんに言われたことを改善すると成功していききました。

「失敗は成功のもと。」人間は失敗を繰り返しながら、また失敗を言ってくださる方のおかげで成長していくんだなあと改めて感じました。そして、私が今、「幸せ」「楽しい」などと感ずることができるのは、指摘をしてくれる親や家族、先生、違う時には、はつきりと言ってくれる友達など、たくさんの方に支えてもらっているからだということも考えさせられました。

この本を読んで私は、主人公の掛水さんのようになりたいと思いました。人に何を言われても自分の意見を持ち続け、人の意見に左右されない、自分の意見をしっかりと伝える、そんな人になりたいです。

私は小学生のとき、人前で発表するのはもちろん、授業中手を挙げたり、友達に自分の意見を言うのも苦手というよりも嫌でした。人前で発表したり、授業中、手を挙げて発表するのは恥ずかしくてできませんでした。友達に自分の意見を言うのは、（私が思っていることを言って、みんなが怒ったりしたらどうしよう。）と思ってずっと言えませんでした。そんな私は言いたいことが言えずに辛い思いをしました。

なので中学生になってから意見を言うようにしました。でも授業中に手を挙げるのがどうしてもできませんでしたが、ですが、今年この本を読んでから意見を言うことの大切さがわかりました。そして三年生になってから手を挙げて発表するようになりました。私は今まで「間違える」ことは恥ずかしいと思っていました。でも、ある先生の一言で私は考えを変えることができました。その先生はこう言いました。

「間違えても大丈夫。恥ずかしいことじゃない。まだ教えてないことだから間違えて当然。瑞穂と同じことを思ってた人は、瑞穂に感謝しているはず。」この言葉が心に残ったのは、この本のおかげです。

私はこの本から学んだことをこれらの生活に生かしていきます。この本を今年読んでよかったです。今年は私にとつてすごく大切な年になると思います。夏休みが終わると体育大会があります。第一回目です。自分たちで意見を出し合い、一・二年生をしっかりと引っ張っていけるように仲間と協力していかなければならないと思います。体育大会だけでなく、これからの人生、掛水さんのように、自分の意見を持ち、意見を言えるそんな人になりたいです。



世界の終わりに咲く花
若月 かおり (著)、鹿目
けい子 (著)、泰文堂

「世界の終わりに咲く花」を読んで

阿蘇中央高校二年 塚本 としえ

「あたりまえな恋さえ、僕たちには奇跡だった。」

この本を読もうと思ったきっかけは、前文の「あたりまえ」という部分に目が留まったからだ。九州北部豪雨で、今までのあたりまえの生活が奪われた。幸い、私の家は何も被害を受けなかったが、身近な友人や親戚に大きな被害をもたらした。この文に書いてあるあたりまえと、大雨で奪われたあたりまえは違う意味かもしれないが、私は何か共通点があるのではないかと思い、この本を読むことにした。

この本は、幼い頃から腎臓の病気を患っている、昆虫が大好きな十七歳の少年・矢野太陽とひとつ年下の少女・藤野咲希が主人公である。二人は共に闘病生活を続けていた。そんなある日、咲希の二度目の腎臓移植手術が決まる。成功する確率は三十パーセント。成功率の低い手術を控えた咲希は、太陽に病院から連れ逃げるようをお願いする。そして二人は咲希の行きたかった場所・青砥島に行くことを決意する

という物語だ。

私はこの本を読んで、同じ立場にある者同士だからこそ、他人がわからないことが理解し合えたり、何かを共有することができるということに気付いた。物語の中で、咲希の友人がお見舞いに来るといふ場面がある。その友人は咲希のいない所で

「ケーキが食べられないなんて人生の半分損しているけど、身体障害者手帳持っているのと、遊園地とかの入場料が半額になるからお得だね。」

と言った。自分に置き換えてみると、私は病気を患っておらず、身体障害者手帳も持っていないから、そのような先入観を持って咲希の友人が言ったような言葉を言ってしまうかもしれないと思った。しかし太陽は、咲希の友人の言葉を聞いて

「自分たちの価値観だけで勝手に人生損しているとか得しているとか言うな。」

と言った。それは同じ病気と闘っているからこそわかることで、太陽自身も悔しい気持があったからこそ、そのようなことを言ったのだろう。この太陽の言葉を読んで、私も先入観や、自分の価値観だけで人や物事を判断してはならないと思った。そして、たくさんの人と理解し合い、たくさんの人と意見やそれぞれの価値観を共有したいと感じた。そうすることで、どんなに置かれても立場が違って、人間の輪が広がり、もっとたくさんの人と接することができると思う。

そして、もう一つ冒頭で書いた「あ

たりまえ」という言葉について考えた。

私は、本を読むにつれて冒頭の文のあたりまえと九州北部豪雨で奪われたあたりまえは違う意味だと思った。それは、この本を読んでの気付きと共通して、個人個人の価値観が違うということから考えられる。この物語の主人公たちの望むあたりまえは、ジュースを飲むこと、ケーキを食べること、学校へ行くこと、恋をすること。病気を患っている人と健康な人では、やはり望むあたりまえが違う。例えば、この物語の主人公たちのように腎臓病を患うことで食事制限や運動制限がされる。しかしその制限を一つでも解くことができるならば私たちにとっては普通のことで幸せに感じるだろう。一方で、九州北部豪雨で被害を受けた人たちが望むあたりまえは早く復興して元の生活に戻ることだろう。これは、同じ立場に立たされた人々が皆同じように望むことだ。この二つの場合のように自分の置かれている立場によってあたりまえの価値観は違う。しかし、共通するあたりまえが一つある。それは「生きていく」ということだ。生きてい

なかつたら、あたりまえと感ずることすらできない。普段から「生きていく」ということを常に考えている人はいいだろう。気付いているようで気付いていない「生きていく」ということは、私たちにとって一番大切になければならない「あたりまえ」なのだ。

私は、この本を読んで、普段はあまり考えないことでも、そのことについて考えてみると深い意味があるという

ことにたくさん気付くことができた。また、あたりまえという言葉の重みも知った。そのことに気付いたことによつて自分を振り返り、見つめ直すことができた。それは、この本が命と向き合う話だからだと思う。いくら健康でも、どんな病気を患っていても、生きていくことには変わりはない。「あたりまえ」だが、実は「あたりまえ」ではない。そんな、単純だけど、深いことも教えてくれた。私はこの本を読んで良かった。

審査を終えて「市長賞」三篇について

小学校の部は、読書の過程がきちんと表現されています。構成のしっかりした文章です。感想や考えが自分の言葉できちんと表現されています。中学生の部は、本を読んで、主人公の生き方に学び、これからの生き方を考え、若者らしく生きようとまとめた、しっかりとした感想文です。高等学校・社会人の部は、当たり前であることの尊さと難しさに気づき、生きることを大切にしようと考えた読後感が、まとまり良く書かれています。

どの作品も、一生懸命、しっかりと書かれており、感動しながら読ませてくださいました。あの、7月12日の九州北部豪雨災害の被害を受けられ、避難先で書かれた人、復旧作業の中で書かれた人、何篇も拝見いたし、胸が痛みました。心から復旧が1日も早く終わり、普段の生活に戻れますようお願いいたします。

【審査委員】 中川實 田尻明子

西村正敬 宮本誠一 井上利之